

1. 基礎情報

自治体名	岩手県奥州市
担当部署名	政策企画部未来羅針盤課ILC・多文化共生推進室
電話番号	0197-24-2111
ホームページ	https://www.city.oshu.iwate.jp/



「多言語通信局」収録風景

在留外国人数	令和5年4月現在	666	人	住民基本台帳人口に占める割合	0.6	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (中国)	148	人	2位 (ベトナム)	136	人
				3位 (フィリピン)	131	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	市と奥州市国際交流協会は2009年に「奥州市多文化共生マスタープラン」を策定し、以来、コミュニケーション支援における情報の多言語化事業を展開している。市と協会は外国人市民への情報提供のための一手段として「やさしい日本語」を活用した情報発信を強化するために、連携して取り組みを進めている。	
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇災害時の多言語ラジオ放送(2008年岩手・宮城内陸地震をきっかけに取り組みを開始。2011年東日本大震災時、2019年台風19号による避難指示・避難勧告の際に、「やさしい日本語」・英語・中国語で情報を発信) ◇多言語ラジオ番組「多言語通信局」(月曜日～金曜日放送。「やさしい日本語」、中国語、英語、韓国語、タガログ語で市政情報や日本の文化・習慣についての情報を提供) ◇多言語情報紙発行(毎月、市広報紙の内容を「やさしい日本語」、英語、中国語で発行) ◇「外国人のための生活支援ガイドブック」の作成(「やさしい日本語」、他7言語による発行) ◇特別定額給付金申請に関する書類案内の多言語化(「やさしい日本語」、プレーンイングリッシュ、英語、中国語簡体字、ベトナム語で作成) ◇「やさしい日本語」普及・啓発のための講演会の開催(講師:佐藤和之 弘前大学名誉教授) や普及に向けた学習会の実施 ◇生活支援カフェでの「やさしい日本語」による生活情報発信◇市国際交流協会ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターでの「やさしい日本語」による情報発信 	

大分類	生活支援	
小分類	医療・保健サービスの提供	
取組のポイント	市内在住外国人と外国からの短期滞在者が安心して医療機関を受診できる環境を整えるために、医療通訳システムの普及・拡大を推進している。	
具体的な取組内容	<p>技能実習生の受入れ増加などに伴い、在住外国人が増加する中、外国人市民に対する「医療環境の充実」をはかるため、奥州市国際交流協会に委託し、医療機関等からの要請に応じて医療通訳ボランティアの派遣を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇医療通訳者派遣システムの実施(対応言語は英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語) ◇研修事業の実施(医療通訳研修会、医療通訳ボランティアフォローアップ研修会) ◇医療通訳業務等に係る外国人住民からの相談対応 ◇医療関係用語索引集の作成 <p>※令和5年3月末時点の医療通訳ボランティア登録者数、83名。</p> <p><研究機関との連携> 公立大学法人岩手県立大学地域政策研究センターの地域協働研究において令和5年度に「奥州市多言語医療支援ポータルサイト構築とその効果評価に関する研究」を課題とした共同研究を実施する。 (岩手県立大学ホームページ 研究内容紹介動画『けんだいちいき研究室』【 https://www.iwate-pu.ac.jp/information/movie.html 】)</p>	